

職員研修(研修部)

昨年度からの授業改善プログラムの流れと今年度の年間計画について

担当：佐伯

昨年度、中高研修部において週一回研修部会を実施し、

探究型授業について研修を重ねた

令和5年度 1学期



1 職員研修Ⅰ

探究的授業について研修部での話し合い

2 職員研修Ⅱ

他校で実施している探究的学習を映像で見て、教科部会を実施

3 学習会・他校の視察

統計学有識者による探究とデータサイエンスの研修, SSH校への視察

4 研究授業①

数学探究 「期待値から考える利益の出る魅力的なくじの作成」

令和5年度 2学期

1 職員研修Ⅲ

教科横断と合科的授業

2 研究授業②

「家庭×数学」による合科授業【資産形成を等比数列で切る】

令和5年度 3学期

1 職員研修Ⅳ

SSHと合科・探究の授業について

2 公開研究授業③

【学びの意味を共有するIKEDA合科・探究の日】

【学びの意味を共有するIKEDA合科・探究の日】 令和6年2月20日実施

実施教科 「理科×英語」 国際社会における化学の役割

「社会×数学」 「薩摩見聞記」に見る薩摩人の数学・科学的姿勢と素養」

「国語×社会」 松尾芭蕉の文化観への二方向からのアプローチ

「家庭×数学」 資産形成を等比数列で切る

「国語×理科」 「徒然草」の時間観への合科的・探究的なアプローチ

公開授業見学した他校の先生方のアンケート結果

| | 項目 | ① | ② | ③ | ④ | ①+② |
|---|--|-------|------|-----------|------|------|
| | | つよく思う | そう思う | どちらともいえない | 思わない | 肯定的 |
| 1 | 教科横断型授業を見て、興味・関心持たれましたか。 | 67% | 33% | 0% | 0% | 100% |
| 2 | 教科を横断する授業は、物事に関する総合的な学びをもたらすと思いませんか。 | 67% | 33% | 0% | 0% | 100% |
| 3 | 教科を横断することにより生徒がそれぞれの教科の面白さをより一層感じるようになっていたと思いませんか。 | 78% | 11% | 11% | 0% | 89% |
| 4 | 教科横断型授業を試したいと思いませんか。 | 33% | 67% | 0% | 0% | 100% |

参観 中学・高等学校

薩摩川内市立川内南中学校

十島村立口之島小中学校

天城町立西阿木名中学校

龍郷町立龍北中学校

三島村立三島片泊学園

長島町立獅子島中学校

平島中学校

富士見丘中学高等学校

仮説

合科的授業は、教科横断的に展開することにより、

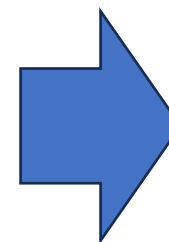
- ① 総合知を育成するとともに、② 各科目の学ぶ意味を明らかにし、
主体的・探究的な学びがスパイラルにたかまっていく。

生徒アンケート集計結果

| 全体 | 項目 | ① | ② | ③ | ④ | ①+② |
|----|--|--------|------|---------|------|-------|
| | | つよそう思う | そう思う | あまり思わない | 思わない | 肯定的回答 |
| 1 | 2つの教科を一緒に進める合科授業により、いつもより楽しく学べましたか。 | 65% | 34% | 1% | 0% | 99% |
| 2 | この授業で、いつもより学んだことについて、深く考えたり、別の観点から考えたりすることができましたか。 | 53% | 44% | 3% | 0% | 97% |
| 3 | この授業により、生活や人生で活かせる知識や考える力が身についたと思いますか。 | 51% | 39% | 10% | 0% | 90% |
| 4 | この授業で受けた各教科を学ぶ意味が分かり、もっと学びたいと思う気持ちが強くなりましたか。 | 47% | 46% | 7% | 0% | 93% |
| 5 | こうした授業形態を増やしてほしいと思いますか | 60% | 32% | 5% | 3% | 92% |



- 項目1 99% 主体的に授業を受けられた
 項目2 97% 探究的に授業を受けられた
 項目3 90% 総合知を意識して学べた
 項目4 93% 各科目の学ぶ意味が分かり、意欲的になった



仮説が検証された

次年度の展望(昨年度段階)

- ① 昨年度実施した「合科探究の日」を継続させ、スケールアップしていく
- ② SSH設定科目を充実した内容に変更し、教科横断型、合科授業の指導案を増やしていく
- ③ 小学校と連携し、合科探究授業の実施を計画する
- ④ 小学・中学・高校が連携した研修のあり方を実施する。

今年度の重点目標

- ① 合科授業を**全職員体制**で実施し、さらなる授業改善に努める
- ② SSHの充実に生かす研修を展開する
- ③ 各部による職員研修の実施
- ④ 中高での互見授業の実際の運用
- ⑤ 小学校との合科・授業交流の実施
※SSHの中間評価(9・10月), 申請(R9)への対応を踏まえて
展開する

年間計画

※職員研修は高校1階特別教室にて放課後に実施

| 月 | 企画 | 内容 |
|-----------|------------------------|---------------------|
| 4月 | 研修部会 | 合科授業，職員研修について |
| 5月17日（金） | 職員研修① | 研修部，進路指導部 |
| 6月21日（金） | 職員研修② | 広報部，情報，寮務部 |
| 7月2日（火） | 職員研修③ | SSH部，研修部，保健部 |
| 8月 | 第1回合科探究の日 小・中・高合同研修 | 研修部による合科授業の実施 |
| 9月 | 研修部会 | |
| 10月15日（火） | 職員研修④ | 生徒指導部，IT戦略部 |
| 11月26日（火） | 職員研修⑤ | 研修部，教務部 |
| 12月 | 研修部会 | |
| 1月 | 研修部会 | |
| 2月 | 研修部会 | |
| 3月 | 第2回合科探究の日 小・中・高合同研修 | 研修部以外の職員も交えた合科授業の実施 |

- 教務部 . . . 教務に関する共通認識事項
- 進路指導部 . . . 過去3年間の進路結果の分析と今後の展望
- 生徒指導部 . . . 生徒指導提要や指導例を踏まえた今後の生徒指導のあり方について
- 広報部 . . . 広報活動に関する共通確認事項(基礎基本)について
- 研修部 . . . 池田学園の求める授業及び授業改善と今年度の取り組みについて
- IT戦略部 . . . 情報モラル等について
- SSH部 . . . 今年度の流れ等について
- 情報 . . . エクセルの文字列の使い方
ポスターの作り方
相関関係やT検定等について
- 保健部 . . . (LHR等でできる)保健指導について
- 寮務部 . . . 寮における生徒の指導について, 寮則の確認

合科授業の日について

○ 第1回合科探究の日の組み合わせ → 8月末に実施予定

| | |
|---------------------|-------------|
| ①社会×数学：谷口，栗屋 | ②国語×数学：迫，野間 |
| ③数学×生物：佐伯，西橋 | ④英語×社会：長，谷口 |
| ⑤物理×生物：樋之口，黒木，前田(友) | ※ネットで公開する |

※今年度のソフィアは合科授業で実施する予定。

→ SSH部の方で4月25日(木)の職朝で計画を配布済み。(下表参照)

| テーマ | 組み合わせ |
|-------------------|---------------|
| ①科学史と探究 | 尾崎(社会)×野間(数学) |
| ②近代の自然観・生命倫理と探究 | 田代(社会)×(未定) |
| ③鹿児島島の科学技術史 | 谷口(社会)×数学(栗屋) |
| ④科学技術の発達と環境問題 | 肥後(社会)×松尾(理科) |
| ⑤現代社会と科学(SDGsの課題) | 日浅(家庭)×小田(社会) |
| ⑥情報社会と人間 | 小田(社会)×黒木(情報) |

合科授業の日・小学校との連携について

○ 第2回合科探究の日の組み合わせ → 3月中旬に実施予定

| | |
|-----------------|---------------------|
| ①国語×英語：蓑田，歌野 | ②体育×数学：玉利，前田(周) |
| ③地理×数学：肥後，栗屋 | ④国語×芸術：原田，山崎，上江 |
| ⑤化学×英語：前田(早)×葛原 | ※ネットで公開しない(校内の互見授業) |

※dellサーバー → 01_校務 → 03_校務分掌 →
01_各部 → 07_研修 → 合科の動画
で去年の合科探究の日の授業内容を視聴できます。

○小学校との連携について

小学6年の授業に理数の教員が参加して担任の先生と合科授業を実施する。

| 実施時期 | クラス | 小学校担任 | 中高職員 |
|------|------|-------|----------|
| 7月中 | 6年1組 | 中園先生 | 佐伯先生(数学) |

参 観 者：中学・高校 教科()

参 観 日：令和()年()月()日 ()限

ク ラ ス：()年()組

科 目：()

授 業 者：()

○中高の互見授業は1学期間に必ず1度は実施してもらおう。(年間最低3回)

→ 実施後に簡単なアンケート(右図参照)を記入後、栗屋に提出。

→ 集約後、授業担当者へ渡す。

※研修部の授業に関しては、予約なしでいつでも見学に来られて構いません。

①授業を参観されて学んだことを記入してください。

②授業を参観された感想を記入してください。

※このアンケートは、後ほど授業担当者へお渡しいたします。

中・高の授業評価基本票について

池田学園の授業評価基本票

| 項目 | | とても そう思う | そう思う | そう 思わない | 全くそう 思わない |
|----|--|-------------|------|------------|--------------|
| I | 一つ一つの知識等をひとつひとつ覚えることができたか。 | | | | |
| C | いろいろな知識等の使い方を理解して、的確に活用することができたか。 | | | | |
| E | いろいろな知識等を活用することで、ものの見方や考え方を深めることができ、今の学びや将来に生かそうと考えましたか。 | | | | |

各先生方で、単元ごとや章ごとに実施していただき、結果を入力シートに記入しておいてください。

各学期の終わりになりましたら、栗屋まで提出よろしく申し上げます。

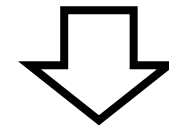
生徒にアンケートを取るだけでなく、先生方もその都度、ご自身のお考えをお答えください。生徒の考えと教員の考えの違いを分析していきます。

昨年度、作成したICEルーブリックです。

I は「Ideas」 … 「知っている段階(基礎)」

C は「Connections」 … 「分かる段階(関連)」

E は「Extensions」 … 「使える段階(応用)」



教科の特性があるので、評価票の内容を各教科部会で考えていただき、そちらを使っていたらと思います。

第1回探究的な授業に関する自己評価アンケート集計結果

2023.6 「探究的な授業に関する教職員自己評価票」 アンケート集計結果

| | そう している | 時に そう している | 全く そう してい ない | 肯定 的な 回答 |
|---|------------|------------------|-----------------------|----------------|
| 6月探究学習に関するアンケート | | | | |
| ① 授業では、生徒の思考をゆさぶる良質の問いを導入しようとしている。 | 32% | 55% | 13% | 87% |
| ② 知識・技能を日常生活や社会と関連付けるよう授業を構想しようとしている。 | 50% | 38% | 13% | 88% |
| ③ 知識・技能を他教科と関連付けて横断的な視点で授業を構想しようとしている。 | 13% | 59% | 28% | 72% |
| ④ 知識・技能を習得したうえで、それを活用・探究する学びを導入しようとしている。 | 25% | 56% | 19% | 81% |
| ⑤ 授業のねらいに応じ、対話・記述する等の言語活動を効果的に導入しようとしている。 | 41% | 47% | 13% | 88% |
| ⑥ 授業のねらいに応じ、アクティブ・ラーニングやICTの活用を進めようとしている。 | 19% | 50% | 31% | 69% |
| ⑦ 生徒自身に学習活動を振り返らせたり、評価(自己評価・相互評価)をさせたりする機会を与えるようになった。 | 16% | 35% | 48% | 52% |
| ⑧ 評価問題(錬成)では、基礎基本の習得や活用を問う問題とともに、深く考えさせたり、記述させる問題を導入している。 | 53% | 31% | 16% | 84% |

2024.4 「探究的な授業に関する教職員自己評価票」 アンケート集計結果

| | そう している | 時に そう している | 全く そう してい ない | 肯定 的な 回答 |
|---|------------|------------------|-----------------------|----------------|
| 6月探究学習に関するアンケート | | | | |
| ① 授業では、生徒の思考をゆさぶる良質の問いを導入しようとしている。 | 53% | 47% | 0% | 100% |
| ② 知識・技能を日常生活や社会と関連付けるよう授業を構想しようとしている。 | 56% | 41% | 3% | 97% |
| ③ 知識・技能を他教科と関連付けて横断的な視点で授業を構想しようとしている。 | 32% | 59% | 9% | 91% |
| ④ 知識・技能を習得したうえで、それを活用・探究する学びを導入しようとしている。 | 44% | 56% | 0% | 100% |
| ⑤ 授業のねらいに応じ、対話・記述する等の言語活動を効果的に導入しようとしている。 | 65% | 32% | 3% | 97% |
| ⑥ 授業のねらいに応じ、アクティブ・ラーニングやICTの活用を進めようとしている。 | 41% | 44% | 15% | 85% |
| ⑦ 生徒自身に学習活動を振り返らせたり、評価(自己評価・相互評価)をさせたりする機会を与えるようになった。 | 21% | 76% | 3% | 97% |
| ⑧ 評価問題(錬成)では、基礎基本の習得や活用を問う問題とともに、深く考えさせたり、記述させる問題を導入している。 | 59% | 41% | 0% | 100% |